

福岡県改修工事特記仕様書		①
I 工事概要		一般
1. 工事名称	行橋中学校体育館外壁改修工事	
2. 工事場所	行橋市大橋一丁目11番1号	
3. 工事概要は別紙(仕上表)による。		
4. 別途工事		
5. その他		共通事項
II 建築工事仕様		
1. 標準仕様		
図面及び特記仕様書に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)」(以下「改修構仕」)及び「建築改修工事監理指針(平成31年版)」による。ただし、改修構仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年度版)」及び「建築工事監理指針(平成31年版)」による。		
2. 特記仕様		
1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は ○印のついたものを適用する。 ○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。 ○印と ※印のついた場合は、共に適用する。		
3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書の当該項目、当該図、または当該表を示す。 4) 特記事項に記載の「 」内表示番号は、公共建築工事標準仕様書の当該項目、当該図、または当該表を示す。 5) 形状寸法の単位は特記なきがぎり、ミリメートルとする。		
章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 適用基準等	図面もしくは特記仕様書に記載なき場合は、以下の仕様書による。 (1) 「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(以下「標準仕様書」という。)による。 (2) 「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (3) 「公共土木建築工事標準仕様書平成31年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (4) 「建築物解体工事共通仕様書平成31年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
	② 補足基準等	1. 適用仕様等、図面、特記仕様書に記載なきものについては、以下の基準、指針、要領、標準図等による。 (1) 「建築構造設計基準平成30年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 (2) 「建築工事標準詳細図平成28年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (3) 「鉄筋コンクリート構造配筋要領平成11年版」建設大臣官房営繕部監修 (4) 「鋼設計標準図平成12年版」建設大臣官房官庁営繕部監修 (5) 「建築改修工事監理指針令和元年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 (6) 「建築改修工事監理指針令和元年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 (7) 「建築工安全施工指針・同解説」国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 (8) 「解体工事安全施工指針」建設業労働災害防止協会 (9) 「建設廃棄物処理指針」厚生労働省生活衛生局 (10) 「建築物解体等に係るアスベスト飛散防止対策マニュアル」環境省大気保全局(環境庁アスベスト飛散防止対策研究会) (11) 「建築物等の解体等工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル(新版)」建設業労働災害防止協会
	③ 適用範囲等	すべての設計図書は相互に補完するものとする。ただし設計図書に相違がある場合、設計図書の優先順位は、次の(1)~(4)の順番とする。 (1) 質問回答書 (2) から (5) に対するもの (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面
	④ 現場に常備する図面等	上記の「1. 適用仕様書」及び「2. 補足基準」のうち、当該工事に係る図書等については現場事務所に常備し監督職員の確認を得ること。
	⑤ 工事実績等の登録	請負者は、工事請負額が500万円以上の工事について、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は完成後10日以内に、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、「建設情報実績」を作成し、建築都市総務課契約室の確認を受けた後に、(財)日本建設情報総合センターに提出しなければならない。また、(財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」の写しを建築都市総務課契約室に提出しなければならない。 問い合わせ先 〒812-0016 福岡市博多区博多駅東3-11-28博多サンシティビルⅡ6F (財)日本建設情報総合センター九州地方センター TEL 092-411-3664 FAX 092-411-3486 (1.1.4)
	⑥ 施工体制台帳	※現場説明書による。請負者は下請け契約を行う全ての工事で施工体制台帳を作成し、工事現場に貼え置くとともに、その写しを監督員に提出すること。 工事の施工に当たり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告する。その後の措置については、監督員の指示に従う。(1.1.12)
	⑦ 文化財その他埋蔵物	
	⑧ 実施工程表	概成工期(平成 年 月 日) (1.2.1)
	⑩ 工事の記録	工事日報は、工事記録を兼ねることができる。(1.2.4) 下記要領により撮影し、写真帳に説明を記入のうえ提出する。(原画は撮影業者が保管する。)
		区分 分類 規格 部数 原画の大きさ 備考
	※着工前 ※カラー・モノクロ ※サービズ版 ※1部 24×36以上又はデジタ画像	監督員の承諾する撮影者(原画提出不要)
	※施工中 ※カラー・モノクロ ※サービズ版 ※1部 24×36以上又はデジタ画像	監督員の承諾する撮影者(原画提出不要)
	※完成時 ※カラー・モノクロ ※サービズ版 ※1部 100×125以上 ※2部 24×36以上	外観・内部、監督員の指示による。監督員の承諾する専門業者
	注記	撮影業者は建築完成写真の撮影実績がある者で、監督員が承諾する撮影者(着工前、施工中)、監督員の承諾する専門業者(完成)とする。 電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画素としCD-Rで提出する。 デジタル撮影時200万画素以上300dpi以上
11. 電気保安技術者	※適用する(工用電力設備の保安責任者が兼ねる。)	・適用しない (1.3.3)
⑫ 施工条件	(施設を使用しながらの施工)	(1.3.5)

⑬ 一般共通事項	⑬ 施工中の安全確保	建築基準法、労働安全衛生法、その他関係法令等に定めるところによるほか、(1.3.7) 建設工事公衆災害防止対策要綱に従うとともに、建築工安全施工技術指針を参考に、常に工事の安全に留意して現場管理を行い、施工に伴う災害及び事故の防止に努める。
	⑭ 建設リサイクル法	「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)の対象となる工事に該当(※現場説明書による。・する ○しない)
	⑮ 工事に伴う建設副産物の処理について	建設副産物の処理について
		資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。 現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別し指定された場所へ集積すること。 また、施工区分表に積み込み・運搬・処分までの指示がある工事については、現場内に分別保管場所を設置するとともに、再生資源の利用の促進に関する法律、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。 「建設工事に係る資材の再資源化に関する法律(平成12年6月31日法律第104号)」規定されている事項について、建築工事における対応については、「建築工事における建設副産物管理マニュアル(平成18年6月12日付国土環境第4号)」による。 工事に際しては、工事着手時に建設副産物処理計画書、再生資源利用計画書等を、工事竣工時に建設副産物の処理結果報告書、再生資源利用実施報告書等を提出すること。
		指定副産物(原則として再資源化施設へ持込むもの)
		・がれき類(コンクリート塊)(アスファルト塊) ・木くず ・建設発生土 ・汚泥 指定副産物の工事現場からの搬出、再生資材等の利用等については、「リサイクル原則化ルール(平成18年6月12日発表)」により実施する。 建設汚泥については、「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン(平成18年6月12日事務次官通知)」に従い、建設汚泥の再生利用を推進する。
		その他の副産物
		・廃プラスチック ・ガラス、陶磁器くず ・廃石こうボード ・金属くず ・繊維くず 特別管理産業廃棄物 ・廃石綿等 「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル(環境庁大気保全局)」及び「石綿障害予防規則(平成17年7月1日施行)」に従い、収集、運搬、処分を行う。
		・廃PCB等 「電気事業法：電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・届出を行うとともに、適正に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。
		※参考受入場所は現場説明書による (1.3.12)
⑯ 一般共通事項	⑯ 施工中の環境保全等	建築基準法、建設リサイクル法、環境基本法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、廃棄物処理法、土壌汚染対策法、資源有効利用促進法その他関係法令等に定めるところによるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、工事の施工の各段階において、騒音、振動、粉塵、臭気、大気汚染、水質汚濁等の(1.3.11)影響が生じないように、周辺環境の 保全に努める。
	⑰ 再資源利用(促進)	
	⑱ 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を得る。 なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房営繕部監修「建築材料・設備機器等性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。 福岡県認定リサイクル製品の使用製品名及び使用部位については、現場説明書によること。 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督員の承諾を受け、当該製品の指定工法によることができる。(1.4.1)
		排出ガス対策型建設機械について
		「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき、指定された建設機器を使用すること。 (対象機種：パツツク、ブツツク、トツツク(車輪式)、空気圧縮機(可動式)、油圧ユニット(油圧ハブ・アスガ)油圧式鋼管圧入引抜機・油圧式杭圧入引抜機・アスガ・ホヱツク)掘削機・リバ・ホヱツク)リバ・アスガ) 地下連続壁施工機・全周転型オツツク)掘削機の基礎工用機械のうちベ・スツク)は別に独立したデ・エツク)駆動の油圧ユニットを搭載しているもの)、ロードロー、クヱツク、振動クヱツク、ホヱツク、発電電動機(可動式(溶接兼用機を含む))但し、以上はデ・エツク)エンジン(エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載したものに限る。)。
		・工事における振動被害防止要領の適用 振動計の設置については現場説明書による
		※ 提出する(CD-R等にて) ・提出しない
		本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を得る。 なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房営繕部監修「建築材料・設備機器等性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。 福岡県認定リサイクル製品の使用製品名及び使用部位については、現場説明書によること。 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督員の承諾を受け、当該製品の指定工法によることができる。(1.4.1)
		環境への配慮について
		国による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)により、環境負荷の低減できる材料を選定すること。 使用する材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮すること。 工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。 指定品目、判断基準は「H27年度福岡県環境物品等調達方針」によること。
⑰ 一般共通事項	⑰ 施工数量調査	調査項目 調査範囲 調査方法 報告書・数量書 外壁変化調査 外壁全体 目視及び目録 ※2部 ○1部 ※2部 ※2部 ※2部
		※既存部分の破壊を行った場合の補修方法は図面図示による。(1.5.2)(1.5.3)
		適用工事
		工事種別 技能検定職種 備考 ・鉄筋工事 鉄筋施工 ・コンクリート工事 型枠施工 ・土工事 建築大工 ○左官工事 左官 ○塗装工事 塗装 ○屋根及び屋根工事 建築板金 ・内装工事 内装仕上げ施工 ・内装工事 塗装 ・金風工事 内装仕上げ施工(鋼製下地) ・植栽工事 造園 請負額 300万以上
		見本施工の実施箇所() 工種() (1.5.5)
		室内空気中化学物質の濃度測定 ・行う ・行わない ホルムアルデヒド測定の数値数 ・4カ所 VOC測定の数値数
		測定対象室 ※現場説明書による ・図示 測定位置、方法については、測定前に監督職員に確認する。 測定方法等は「揮発性有機化合物の室内測定容量」参照 ※学校施設については、文部科学省「学校環境衛生基準」(平成21年4月1日告示第60号)に基づきVOC等の測定を行う。(1.5.9)

⑰ 一般共通事項	⑰ 完成図等	種類及び提出形式は下記による (1.7.2)
		種類 提出形式 部数 完成図 ※設計図一式 ※二つ折り青焼き又は白焼き製本(A1) ※CADデータ(JWW又はDXF又はFSG) ※1部 ・()部 ※T1FFデータ(竣工図電子データ作成要領による)
		総合図 ※一式 ※二つ折り青焼き又は白焼き(適宜:A1又はA3) ※1部 ・()部
		施工図 ※構造体 ※平面図 ※建築 ※屋根及び種() ※二つ折り青焼き又は白焼き(適宜:A1又はA3) ※1部 ・()部
		作業図 ※家具図 ・() ※二つ折り青焼き又は白焼き(適宜:A1又はA3) ※1部 ・()部
		(注) データの提出はCD-R、DVD-R又はUSBフラッシュメモリーに保存して提出すること。
		24. 保全に関する資料 「構仕」1.7.3(a)の他、下記について必要事項を記入のうえ監督員に提出する。 国土交通省HP「施設保全マニュアル作成要領」 建設大臣官房官庁営繕部監修の「管理者のための建築物保全の手引き」(財)建築保全センター発行) 提出部数 ※2部 ・()部 保全に関する説明書 ※建物概要及び内部仕上げ表 ※施工者一覧表 ※取り扱い説明書、メンテナンスについての注意事項
		25. 設計GL ※図示による ・現状地盤の平均高さとし、監督員の指示による 26. 過積載の防止 ダンプトラック等による工用資機材等の過積載を行わないこと。さし枠の装置又は物品積載装置の不正改造をしたダンプトラックは工事現場内に入り出させないこと。
		27. 解体等工事の範囲 解体等工事にかかる範囲は以下のとおり。 ・建築物 ・地上部・地下部・杭(倉庫) ・() ・付属構造物 ・浄化槽・貯油槽・杭(キュービクル基礎) ・() ・電気設備 ・建物内配管配線 ・電気設備機器 ・() ・給排水設備 ・建物への引込線 ・敷地への引込線(廃止) ・() ・建物内配管配線 ・衛生設備機器 ・() ・建物への引込管 ・敷地への引込管(玉下ろし) ・() ・空調設備 ・建物内配管 ・空調設備機器 ・() ・建物内風道 ・ガス設備 ・建物内配管 ・ガス設備機器 ・() ・建物への引込管 ・敷地への引込管(廃止) ・() ・屋外付帯 ・門、門扉、扉、フェンス・舗装() ・植栽() ・有害廃棄物の処理 ・廃PCB ・特定フロンガス ・廃石綿等() ・什器、備品類等の撤去 ・各種残留物の除去は下表による。 ※を標準とする。
		区分 建物管理者 工事担当者 アスベスト含有建材 ※ オイルタンク内のオイル ※ ビツト(浄化槽、便槽)汚泥 ※ 使用されていた酸、アルカリ、重金属等 ※ 医薬品特別管理産業廃棄物、放射性廃棄物 ※ PCB使用機器 ※ P2B使用機器 ※
	28. 敷地に関する調査 ・敷地内障害物の調査 ・敷地内配管、配線の調査 ・地下水位の調査	
	29. 原形復旧 工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損が生じた場合は原形に復する。	
	30. 設備工事との取合い ※施工区分表による ・施工範囲は下記による ・図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ※図示した壁、天井の仕上げ材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・() (各章共通)	
	31. 風速及び地表面粗度区分 風速 (・34m/秒・) (各章共通) 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)	
	⑳ 接着剤 ホルムアルデヒド放散等級(※F☆☆☆☆・F☆☆☆・F☆☆) (各章共通)	
	㉑ 総合図での調整 各工事の着工に先立ち、各施工図の基準となる総合図を作成し、監督員の承諾を受ける。 総合図は施工図作成に先立ち、建築・設備・その他別途発注工事業者の情報などをすべて盛り込んだ図面とし、それらの接点の細部調整を行う。 総合図の調整は、建築工事の請負者が行い、設備工事・その他の請負者がそれに協力する。 参考図の製品等の使用にあたっては、参考図以外の形状等に多少相違がある製品等でも同等品以上であれば使用できる。	
	㉒ 竣工後の調査 竣工後(※2・1)年以内に当該工事範囲に関する経年変化の状況を調査し、報告すること。	
⑰ 一般共通事項	⑰ 足場その他	手すり先行足場について 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場組立て、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、手すり、中柱及び両面幅木の機能を有するものを設置しなければならない。 なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり専用足場方式により行うこと。 内部足場 ※脚立、足場板等() (2.2.1) 外部足場 ※枠組足場 ○くさび緊結式足場 ・単管足場 ○(脚立、簡易移動式足場) 防護シートによる養生※行う ・行わない 材料、撤去材等の運搬 A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 (表2.2.1) 既存部分の養生 ※ビニールシート等 ・合板 ・() (2.3.1) 固定家具の養生 ・行わない ・行う(図示) 既存家具の養生 ※ビニールシート等() ()
		仮設間仕切等の種別 (2.3.2)(表2.3.1)
		種別 下地 仕上材(厚さmm) 劣てん材 塗装 ・A種 ・軽量鉄骨 ・合板(・9.0・12.0) 厚さmm ※無し ・B種 ・木下地 ・石こうボード(※9.5・) ※無し ・C種 単管下地 防護シート ※無し 仮設扉 ※木製扉 ※合板張り程度 ※無し 扉 ※鋼製扉 ・()程度 ※無し ・片面
		備考 承認
		工事名称
		行橋中学校体育館外壁改修工事
		図面名称
		改修工事特記仕様書(1)
		尺度
		図面番号
	日付	
	A-01	

⑰ 一般共通事項	⑱ 監督員事務所	※設ける ○設けない (2.4.1) ※構内に新設する。(m程度) ・既存建物内の一部を使用する。 備品については、監督員の指示による。		
	⑲ 工事用水	構内既存の施設 ○利用できる(※有償 ・無償) ※利用できない		
	⑲ 工用電力	構内既存の施設 ○利用できる(※有償 ・無償) ※利用できない		
	⑲ 総合設計図書	※要する ・要しない		
	⑲ 危険防止	仮囲い等 ○設けない ※設ける 設置方法 ※成形鋼板(H=2.0m) ・垂鉛鉛板(H= m) ・シート張り ・ロープ張り ○(ゲタツツク程度) ゲート ・シート(W=4.5m) ・パネル(W= m) ・ハンガー(W= m)		
		垂直防護施設 ○養生シート(・防災Ⅰ類 ○防災Ⅱ類) ・防音シート(防災Ⅰ類同等) ・枠付き金網 ・アルミ防音パネル ・()		
		水平防護施設 ・防護柵(朝顔) ・ダブルネット 防護施設等取付足場 ・単管一本足場 ・枠組本足場(W= m) ○(くさび緊結式 W=900)		
		設置範囲 ※図示による ○監督員の指示による 設置期間 ※工事期間中 ・監督員の指示による		
		養生構台 ・設置する(図示による) ・設置しない 乗入れ構台 ・設置する(幅員 m、長さ m) ・設置しない		
		監督員の指示による 工事車両の出入口では、一般通行人及び一般車両の安全確保に努めること。 交通誘導員 ・配置する(1名以上) ○配置しない		
⑰ 一般共通事項	⑲ 改修方法の種類及び工程	防水改修方法の種類及び工程については「改修構仕」表3.1.1による。(表3.1.1) シーリング改修方法の種類及び工程については「改修構仕」表3.1.2による。(表3.1.2)		
	2. アスファルト防水	(3.3.2.3)(表3.1.1)(表3.3.3~10)		
		防水改修工法種別 新規防水層の種別 施工箇所		
		保護防水 ・PIB工法 ・PIBI工法 ・P2AI工法 ・P2A工法 ・B-1 ※ B-2 ・BI-1 ※ BI-2 ・AI-1 ※ AI-2 ・A-1 ※ A-2 ・G-1 ※ G-2		
		露出防水 ・M3D工法 ・POD工法 ・PODI工法 ・M3D1工法 ・B-1 ※ B-2 ・DI-1 ※ DI-2 ・M4D1工法		
		屋内 ・PIE工法 ・P2E工法 ・E-1 ※ E-2 保護層は図示による)		
		アスファルトの種類 ※3種 (3.2.2)(3.3.2) M3D、POD、PODI、M3D1、及びM4D1工法の脱気装置 ※設ける ・設けない (3.3.3) 断熱工法の断熱材 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A(スキん層付き) 厚さ(mm) ※25 ・A種押出法ポリスチレンフォーム断熱材の保温係数3種b(スキんあり) 厚さ(mm) ※25 立上り部の保護材 ※押出成型セメント板(厚さ15mm) (3.3.2) ・れんが ※JIS R 1250によるもの ・市販品のれんが又は市販品のれんがが形コンクリートブロック(見え隠れ部分)		
		・コンクリート (表3.4.2.3)(表3.1.1)(表3.4.1~3)		
		防水改修工法の種類 新規防水層の種類 厚さ(mm) 施工箇所		
		・MAS工法 ・AS-1 ・AS-2 ・AS-3 ・M3AS工法 ・AS-4 ・AS-5 ・AS-6 ・M3AS1工法 ・AS1-1 ・AS1-2 ・MAS1工法 ・POAS1工法		
	M3AS1、M4AS1及びPOAS1工法の防湿層 ・設ける ・設けない (表3.4.3) M3AS、POAS、M3AS1、M4AS1及びPOAS1の脱気装置 ※設けない ・設ける (3.4.3)			
	4. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2.3)(表3.1.1)(表3.5.1)			
	防水改修工法の種類 新規防水層の種類 施工箇所 仕上げ塗料塗り 使用分類			
	・POS工法 ・S4S工法 ・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	平場 立上り	・シルバー ・カラー ・製造メーカー仕様	※非歩行
	・POS1工法 ・S4S1工法 ・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2 ・S1-M3			
	・S3S工法 ・S3S1工法 ・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2 ・S1-M3			
	・M4S1工法 ・S1-M1 ・S1-M2 ・S1-M3			
	仕上げ塗料の使用量 脱気装置 ・設ける ・設けない (3.5.3) 目地処理 ※PCコンクリートの場合 ・ALC/パネル下地で種別S-C1の場合 (3.5.4) (3.6.3)(表3.6.1)			
	5. 塗膜防水	施工箇所 改修工法種別 新規防水層種別 仕上げ塗料塗り		
	・POX ※ X-1 ※ カラー ・シルバー ○ L4X ※ X-2 ・X-1 ※ カラー ・シルバー 脱気装置 ※図面図示による ・種類(SUS製) ・設置数量(内訳書参照)			
	6. シーリング	シーリング改修工法の種類 ○シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 (3.1.4)(表3.1.2) シーリング材の種類 「改修構仕」表3.7.1による。(表3.7.1) 接着性試験 ※簡易接着性試験 (3.7.8) ・引張接着性試験(部位)		

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ⑦, ⑧, ⑨) and Description (e.g., 防水改修工事, 保証年限). Includes details on materials, construction methods, and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④, ⑤) and Description (e.g., 外壁改修工事, 浮き部改修方法). Includes details on repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④, ⑤) and Description (e.g., 欠損部改修方法, 浮き部改修方法). Includes detailed repair procedures and material specifications.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④, ⑤) and Description (e.g., 施工調査数量, ひび割れ改修方法). Includes investigation methods and repair techniques.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④, ⑤) and Description (e.g., 外壁改修工事, ひび割れ改修方法). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④, ⑤) and Description (e.g., 欠損部改修方法, 浮き部改修方法). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 欠損部改修方法). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ⑤) and Description (e.g., 浮き部改修方法). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ⑤) and Description (e.g., 浮き部改修方法). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ⑤) and Description (e.g., 浮き部改修方法). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ⑤) and Description (e.g., 浮き部改修方法). Includes repair methods and standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

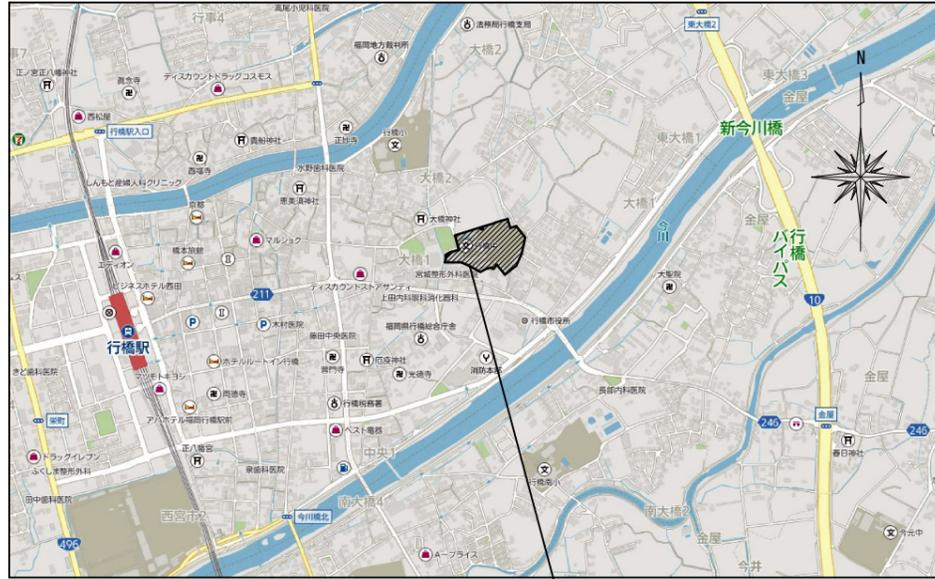
Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④) and Description (e.g., 外壁改修工事). Includes repair methods and standards.

平成29年度版(平成29年度改訂 H2904)
10. 重量シャッター
機能による種類
・管理用 ・ 防火 (・ 外壁用 ・ 屋内用) ・ 防煙
シャッターケース (防火・防煙以外の場合) ・ 設ける ・ 設けない
閉閉機能による種類
※上部電動式 (手動併用) 電源 ※ V kw以下 (過電流保護装置付)
・ 上部手動式
耐風圧強度 ・ ()
屋内用防火、防煙シャッターの危害防止機構 ※障害物感知装置 ・ シャッター二段降下方式
工事範囲 一次測配線は別途工事とし、閉閉機構以降の二次配線は本工事に含む。
11. 軽量シャッター
閉閉機能による種類
※手動式
・ 上部電動式 (手動併用) 電源 ※ V kw以下 (過電流保護装置付)
耐風圧強度 ・ ()
スラットの形状 ※インターロック型 ・ オーバーラッピング型
工事範囲 一次測配線は別途工事とし、閉閉機構以降の二次配線は本工事に含む。
12. オーバーヘッドドア
セクション材料 ※ステールタイプ ・ アルミニウムタイプ
・ ファイバーグラスタイプ
閉閉方式 ※バランスタイプ ・ チェーン式 ・ 電動式
収納方式 ※スリット形 ・ ロケット形 ・ ハイリフト形 ・ ローチェンジ形
ガイドレール ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 (SUS304)
耐風圧強度 ・ ()
13. ガラス
建具に取り付けるガラス及びガラスブロックは図面図示 (建具表) による。 (5.13.2)
ガラス留め材 (5.13.2.(b)) (5.13.3) (表 5.13.1)
建具の種類 材 種
アルミニウム製 ※シーリング材 (SR-1) ・ グレージングガスケット
鋼製、ステンレス製 ※シーリング材 (SR-1)
ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
6 (1) 内装改修工事
1. 既存床の撤去並びに下地補修
合成樹脂塗床材の除去工法 (6.2.2)
・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法
2. 接着剤
壁紙、ビニル床材、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。壁紙用の接着剤は、70%酸値・n-7%及び70%酸値・2-12%含有量のない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (6.8.2) (6.8.3)
※F☆☆☆☆ ()
3. ビニル床シート張り
材 種 種類 記号 色柄 厚さ 工法 特殊機能 備考
ビニル床シート ※発泡層のないもの ※FS ※無地 ※2.5 ・ 熱溶接 ・ 帯電防止
※発泡層のあるもの () ・ 模様 () ・ 突起付 ・ 耐動荷重性
・ 防汚性
・ 耐薬品性
4. ビニル床材張り
材 種 種類 形状 厚さ
ビニル床材 ※コンポジションビニル床材 (半硬質) ※300角 ※2
・ コンポジションビニル床材 (硬質) ・ () ・ 3
・ ホモジニアスビニル床材 () ・ ()
・ 帯電防止ビニル床材 (置敷タイプ) ※500角 ※2
・ ホモジニアスビニル床材 (パネル一体タイプ) ・ () ・ ()
帯電防止ビニル床材 (置敷タイプ) の接着剤は粘着剥離形とし、製造所の指定する製品とする。
5. ビニル幅木
材種 ※軟質 ・ 硬質 (6.8.2)
厚さ ※2 ・ ()
高さ ※60 ・ 75 ・ 100 ・ ()
6. カーベット敷き
織りじゅうたん (6.9.2) (6.9.3) (表 6.9.1) (表 6.9.2)
種類 織り方 パイルの形状 色柄 備考
・ A種 ※三織織り ※カットパイル ※無地 ・ 防虫加工品
・ B種 ・ () ・ ループパイル ・ 模様 ・ 人体帯電圧
※C種 ※3w以下 ・ ()
下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) 第2種2号 (厚B)
タフテッドカーベット (6.9.2) (6.9.3) (6.9.4) (表 6.9.2)
パイル形状 パイル長 工法 備考
・ カットパイル ※5~7 ・ () ※全面接着工法 人体帯電圧
・ マルチレペルループ ※4~6 () ・ グリッパ工法 ※3w以下 ・ ()
・ レペルループパイル ※4 ()
・ カット、ループ併用 ・ ()
7. 合成樹脂塗床材 (6.10.2) (6.10.3) (表 6.10.3~7)
種類 仕上げるの種類
・ 弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ エポキシ樹脂塗床材 ※薄層塗し戻り仕上げ ・ 厚層塗し戻り仕上げ (※平滑・防汚)
・ 樹脂モルタル仕上げ (※平滑・防汚) ・ 防汚仕上げ
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
8. 防塵用塗料塗り
材 質 水性アクリル系樹脂塗料 (※標準色)
仕上種類 コーティング (ローラー刷毛塗り)
塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m以上
9. フローリング張り (6.11.2~7) (表 6.11.1~4)
種類 樹種 工法及び寸法 厚さ・大きさ (mm) 塗装
※複合フローリング ※なら ※釘どめ工法 厚さ・15 ※塗装品
複合 () ・ A種 ・ B種 ※C種 幅・75・90
・ 接着工法 長さ・以上 ・ 無塗装品
単相 () ・ () ・ ()
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
10. 体育館用フローリング張り
樹種 ()
接着剤 ・ 酢酸ビニル系エマルジョン ・ エポキシ樹脂系
表面塗装 ・ ポリウレタン樹脂塗料3回塗り ()
張り付け ・ 下張り板に接着剤で接着し、隠し釘と隠し釘で止める
下張り板 ・ 12mm以上 (木製根太) ・ 15mm以上 (鋼製根太)
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
厚さ ・ 幅 ・
11. 畳敷き
※別途工事特記仕様書による (表 6.12.1)
・ タタミ表替え 本間 普及品

12. セッコウボードその他ボード及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)
材 種 種類 張り方 厚さ 備考
・ セッコウボード ・ 下地張り ・ 突起付 ・ 9.5
・ 目透し ・ 12.5
・ 継目処理工法 ・ 15
・ 化粧セッコウボード ・ トリパチ模様 ・ 直張り ※突起付 ※9.5 寸法 ※450×910 ・ 910×910
・ 木目模様 (表積付) ・ 直張り ※目透し ※9.5 専用軽鉄下地材付き
・ 無石綿けい酸カルシウム板 ・ 硬質木毛ワト板 ・ 打込み ※6・8
・ 普通木毛ワト板 ・ 張付け ・ 10・12
・ 敷込み ()
・ 木質ワト板 ・ 目透し ・ 20 ※25
・ 継目処理 ・ 30
・ 繊維板 ・ トリパチボード
・ 天然木化粧合板 ・ 福岡県産材
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
遮音シール材 ※アクリル系シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド (6.13.2) (6.13.3)
材 種 表面の品質 厚さ 工法
・ 普通合板 生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ・ 5.5 ・ 9 ・ 12 ※A種
※ラワン程度 ()
不透明塗料塗りの場合 ・ 5.5 ・ 9 ・ 13 ・ B種
※しな程度 ()
・ 天然木化粧合板 () ()
壁又は天井に使用する合板は、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたもの。
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 (6.13.2)
※F☆☆☆☆ ()
壁紙はJIS A6921により、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたもの。
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ () (6.14.2)
材 種 品質 程度 防火性能の種類
施工箇所
素地ごしらえの種類 (6.14.3)
モルタル及びプラスター面 ・ A種 ※B種
セッコウボード面 ・ A種 ※B種
14. タイル張り
施工業者 ※内装専門業者とする () (6.16.3)
施工箇所 形状・寸法 磁器 せっ器 陶器 無釉 施釉 有 無 標準 特注 焼き 備考
15. 断熱材 「19.9.2」
材 種 種類 厚さ
※押出法ポリスチレンフォーム ※A種2種b () ・ 25 ()
保温板 ・ A種3種b (接地部分)
・ 硬質ウレタンフォーム ・ A種 () ・ ()
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
施工箇所 ※現場発泡工法に示された施工箇所以外の箇所 ()
・ 現場発泡断熱材 (吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材) 「19.9.3」
難燃性 ※3級・2級
厚さ ・ 25 ()
施工箇所 ※窓回り等の断熱補修部分
16. 吸音材
材 種 品質・規格 厚さ
・ ロックウール吸音材 ロックウール吸音ボード1号 (60K) ・ 25 ()
・ グラスウール吸音材 グラスウール吸音ボード2号32K ※25
グラスウール (JIS R3414) 顔縁種
ガラスクロス張りグラスウール吸音ボード (910×1820) の取付け工法
ポリプロピレン及びプラスチックファスナー留め 4本/m程度以上
17. 樹脂樹脂フォーム床下地材
畳下地 厚さ ※40 ・ 65 ・ 80
フローリング類 厚さ ※80 ・ 95
18. スプレスの表面仕上げ 「14.2.1」
種類 施工箇所 備考
※ヘアライン程度 ・ 下記以外の見え掛かり全て
・ Na2B程度
・ 鏡面仕上げ
「14.2.2」 「表14.2.1」
種類 施工箇所 備考
・ B-1種 無着色
・ B-2種 ・ プラチ系 ・ プラチ ・ スプレー
・ B
「14.2.3」 「表14.2.2」
施工箇所 基礎めっきの種類 備考
溶融・A種 ・ B種 ・ C種 JIS H 8641
電気・D種 ・ E種 ・ F種 JIS A 8610
19. 野縁等の種類 (表 6.6.1)
屋内 ※19形 ・ 25形 ()
屋外 ・ 19形 ()
屋外における野縁等の間隔 () (6.6.3)
20. スタッド、ランナーの種類 (表 6.7.1)
※「改修標準」表6.7.1による ・ 図示による

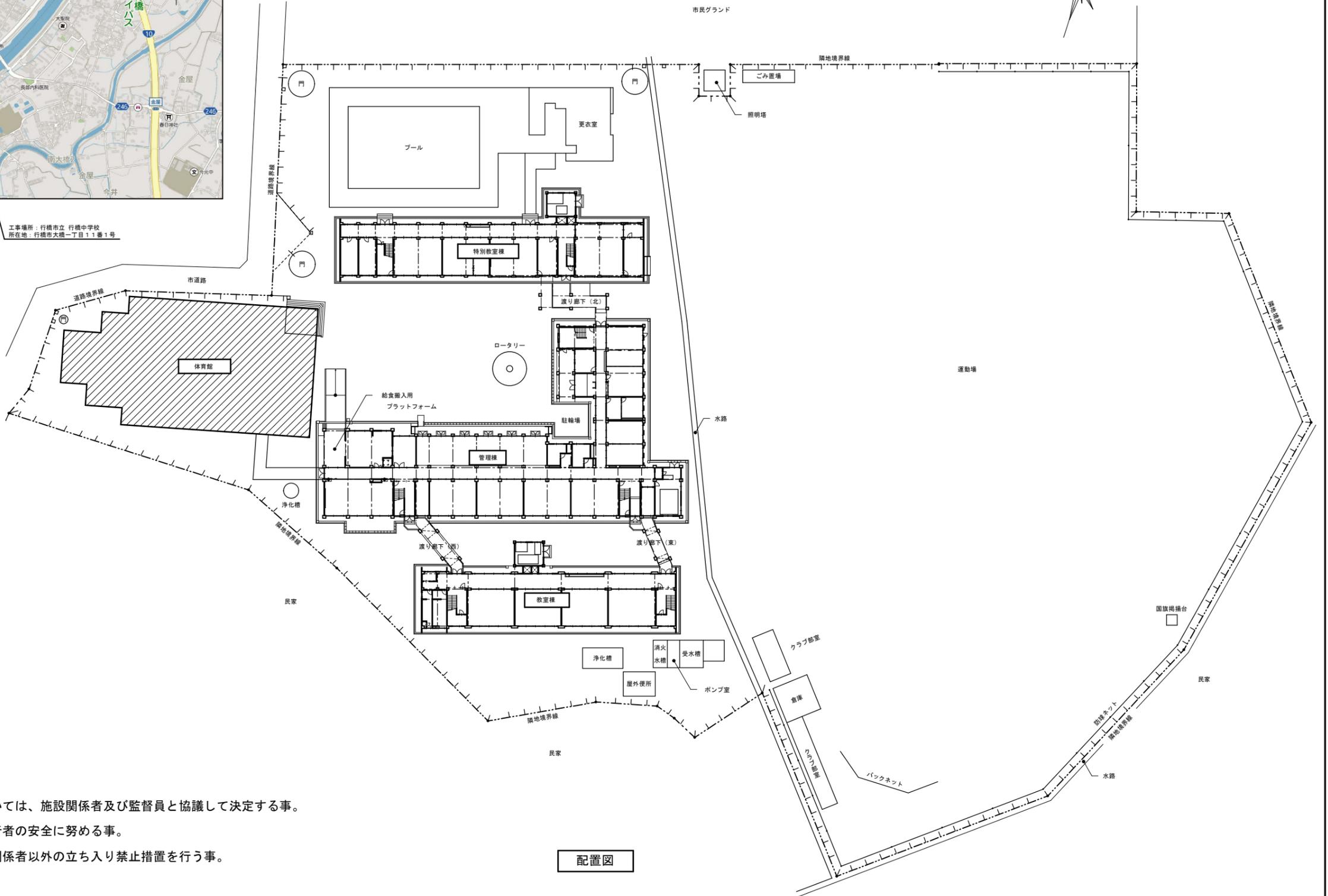
6. 金属成形板張り 「14.6.2」
材 種 製法 材 種 寸法 (mm) 厚 (mm) 表面処理
・ スリット系 ・ 押し出し ※7&2&4 ()
・ ロール ()
・ B-1種
・ B-2種 ()
伸縮調整継手 ・ 設ける ・ 設けない
7. 手すり及びびょうぶ 「14.8.2」 「14.8.3」
種類 材 種の種類 表面処理
※ステンレスSUS304 ※用程度 鏡面仕上げ ()
・ 手すり ・ 鉄 亜鉛めっき 外部 ※C種
内部 ※E種
・ びょうぶ ※ステンレスSUS304 ※研磨なし
・ 鉄 亜鉛めっき 内外部 ※C種 ()
1. フリーアクセス 「20.2.2」
施工箇所 構法 寸法 (mm) 高さ (mm) 耐震性能 所定荷重 表面仕上げ材 備考
・ パネル構法 ・ 500×500 ・ 1.06 ・ 3.000N ・ 帯電防止床タイル
・ 溝構法 ・ 0.66 ・ 5.000N ・ タイルカーペット
帯電防止性能 (U値) ・ 0.6 ・ 1.2
感電防止性能 (漏えい抵抗 R) ≧1×10 Ω 6
構成材の材質 ・ アルミニウム ・ 鋼製 ()
製造所の品質 JIS A 6512によるもの又は評価名簿によるもの
2. 可動間仕切 (既製間仕切) 「20.2.3」
構造形式 パネル部の総厚さ 表面材種 (厚さ) 仕上げ
※パネル式 () () 以上 ※鋼板 () () ※メラミン樹脂又はアクリル樹脂
・ スタッド式 ※0.6 () () 焼き付け
・ スタッドパネル式 () ()
品質 JIS A 6512によるもの又は評価名簿によるもの
3. 移動間仕切 (スライドドア) 「20.2.4」
表面板 仕上げ パネル厚 遮音性
・ 鋼板 ・ 焼付け ※60 ・ 80 ・ 100 ・ 一般タイプ
() () () ()
・ 遮音タイプ
製造所 () 同等以上
4. トイレブース 「20.2.5」
仕 様
パネ ル ・ 樹脂樹脂系化粧板 ・ 樹脂樹脂系化粧板 ()
部 材 ・ アルミ製 ・ ステンレス製 ()
附属金物 ※ステンレス製 ()
足 形 状 ※幅木型 ・ 足金物型
形 式 ・ 丁番吊 ・ 中心吊
5. 階段消止め 「20.2.6」
材 種 ※ステンレス製 (SUS304) ・ 真鍮製
形 式 ※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ タイヤなし
幅 ※35 ()
取 付 ※接着工法 ()
・ 磁器製 幅 ※60 ()
6. 階段手すり (スロープ)
材 種 表面仕上げ 直径 (mm) 取付箇所
※集成材 ※クアアッカー ・ 60 ・ 45
・ ステンレスパイプ ・ HL
・ 鋼製パイプ ・ EP-G
・ ビニル製
7. 床目地棒
床仕上の異なる箇所には目地棒を入れる。
※ステンレス製6×12 ・ ステンレス製4×12 ・ 黄銅製4×12
8. 黒板及びホワイトボード 「20.2.8」
※福岡県黒板工事特記仕様書の項目を適用する。
・ 図示による
9. 鏡 「20.2.9」
縁 ※なし ・ あり ()
ガラス厚 ()
10. 表示 「20.2.10」
※図示による
下記による
種類 材 種 寸法 取付方法
・ 衝突防止表示 ・ ステンレス製市販品 ()
・ 非常用出入口の表示 ・ 市販品 ()
・ 番号札 ・ ステンレス製 () () ・ 面付 ・ 持出し
・ ビクトグラフ ・ ステンレス製 () () () ()
・ 案内板 ・ ステンレス製 () () () ()
・ () () () () ()
・ () () () () ()
11. 煙突ライニング 「20.2.11」
・ 煙突用成形ライニング材 「20.2.11」
最高使用温度 ※650℃ () () °C
・ キャスタブル耐火材
製造所 ※監督員の承諾する製造所 () 同等以上
12. ブラインド 「20.2.12」
形 式 ※横型ブラインド (JIS A 4801) ・ 縦型ブラインド
スラットの材種 ※アルミニウム合金 ・ アルミニウム合金 ・ クロス
閉閉方式 ※ギヤ式 ・ コード式 ・ 操作様式 ・ 1本操作コード ・ 2本操作コード
スラットの幅 ※25 ・ 35 ・ 80 ・ 100
13. ロースタウン 「20.2.13」
材 種、品質等 ()
備考 承認

14. カーテン及びカーテンレール 「20.2.14」 「表 20.2.1」
施工箇所 きれ地名品質 ひだの種類 形式 閉閉装置
※暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重掛けは300mm以上とする。
カーテンレール
材 種 ※ステンレス製 ・ アルミニウム製 ・ 鋼製
形状 ※C型又はD型 ・ 角型
15. フライドベックス及びカーテンベックス ()
材 種 ※アルミニウム製 (既製品) ・ 鋼製 ()
色彩 ※シルバー ・ 着色 ()
形状 ※溝幅90×深さ150 ・ 溝幅 () ×深さ ()
16. コーナービード ()
材 種 ※ステンレス製 ()
17. 天井見切縁
材 種 ※アルミニウム押出型材 ・ 塩化ビニル製
施工箇所 ※仕上表による ()
18. 点検口
施工箇所 材 種 寸法
天井 ※アルミニウム () ・ 450×450 ・ 600×600
床 ※アルミニウム ・ ステンレス ・ 450×450 ・ 600×600
形 式 ・ 一般型 ・ 簡易密閉型 ・ 密閉型 ()
19. くつふきマット
材 種 ※塩化ビニル製又はゴム製 (受枠ステンレス製)
・ 硬質アルミニウム製 (受枠硬質アルミニウム製)
・ ステンレス製 (受枠ステンレス製)
20. 鋼製書架及び物品棚
種類 規格等 耐荷重による種類
・ 鋼製書架 JIS S 1039による ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
・ 鋼製物品棚 ・ 4種 ・ 5種 ・ 6種
21. 旗ざお ()
材 種 ※アルミニウム製 ()
形状 ・ テーパー式 ・ 同一断面
形式 ・ ロープ式 ・ ハンドル式
寸法 ()
22. 旗ざお受金物 ()
材 種 ※ステンレス製 (市販品) SUS 304 ()
23. 流し台ユニット ()
ステンレス流し台 仕様・寸法 ()
コンコ台 仕様・寸法 ()
吊戸棚 仕様・寸法 ()
水切棚 仕様・寸法 ()
24. 視覚障害者用誘導床材
施工箇所 材 質 寸法 備考
・ 磁器製又はせっ器製 ・ 300角 () 無ゆう 黄色
・ ビニル床タイル ・ 300角 黄色
・ 点字紙 真鍮製
・ コンクリート製 ・ 303角 厚60 黄色
25. 既製フェンス
・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装メッシュフェンス
・ 鋼管フェンス ()
26. かぎ箱
※鋼製市販品 ・ 30組用 ・ 60組用 ・ 120組用
27. 敷地境界線
種類 ・ A種 () 程度) ※B種
28. 屋外掲示板
照明器具 ※あり ・ なし
施 錠 ※あり ・ なし
29. 車止め支柱
材 種 ※ステンレス製 (上下式領内蔵型) ()
形状 ※スプリング付き ・ スプリングなし
30. 新聞受・郵便受 ()
31. 木製家具
家具専門メーカーの製作品とする。
32. 収納・収納家具
合板類
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
ミディアムデンシティファイバーボード (MFD) 及びパーティクルボード
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
33. 施工中の安全管理
接着剤及び塗料の配付にあたっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間を取るものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分にを行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させざる。
① 材料
屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたものとする。 (7.1.3)
塗料は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
② 塗装業者
・ (-社) 日本塗装工業会の会員 ※監督員の承諾する塗装業者



附近見取図

工事場所：行橋市立 行橋中学校
所在地：行橋市大橋一丁目1番1号

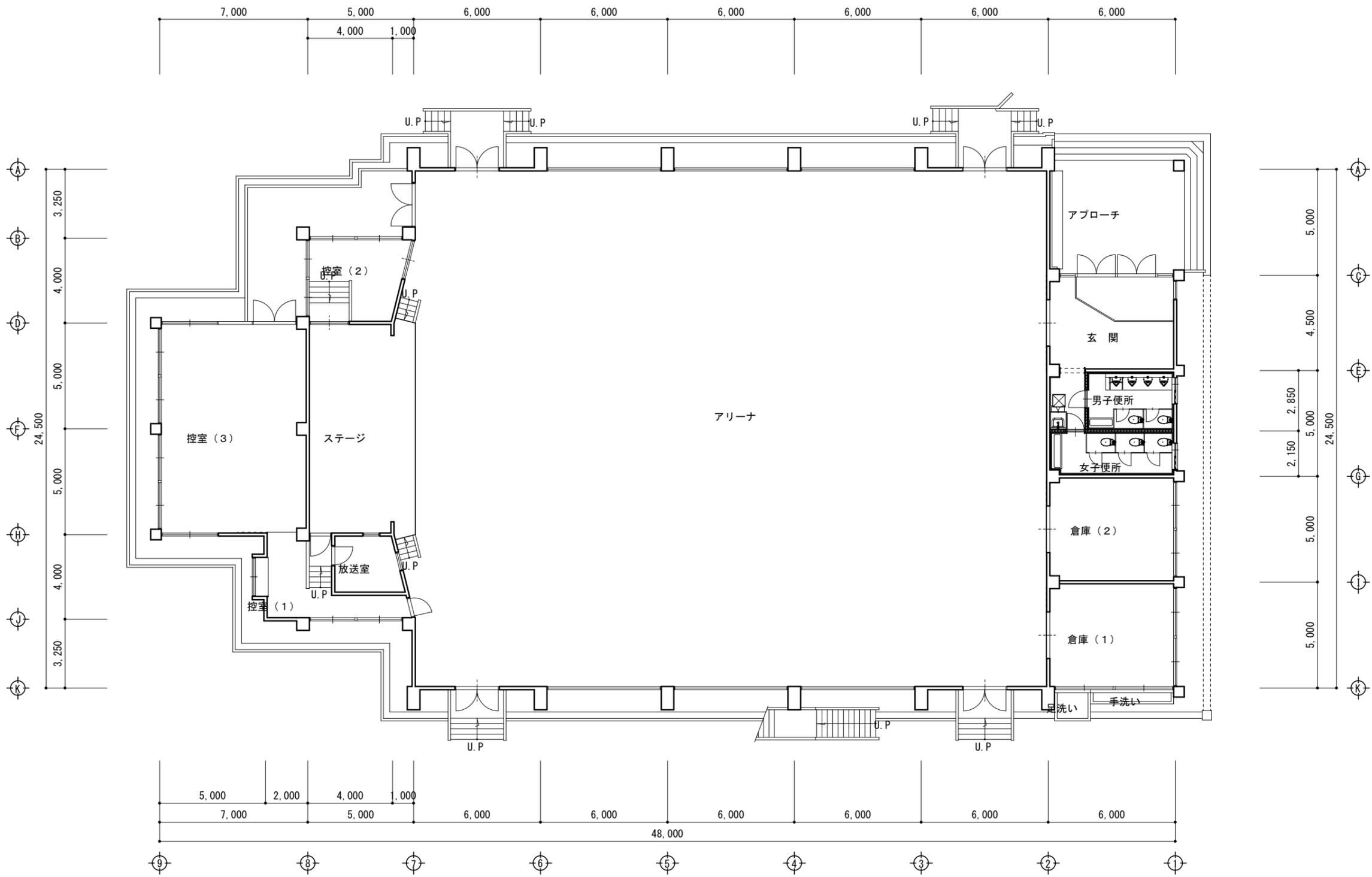


配置図

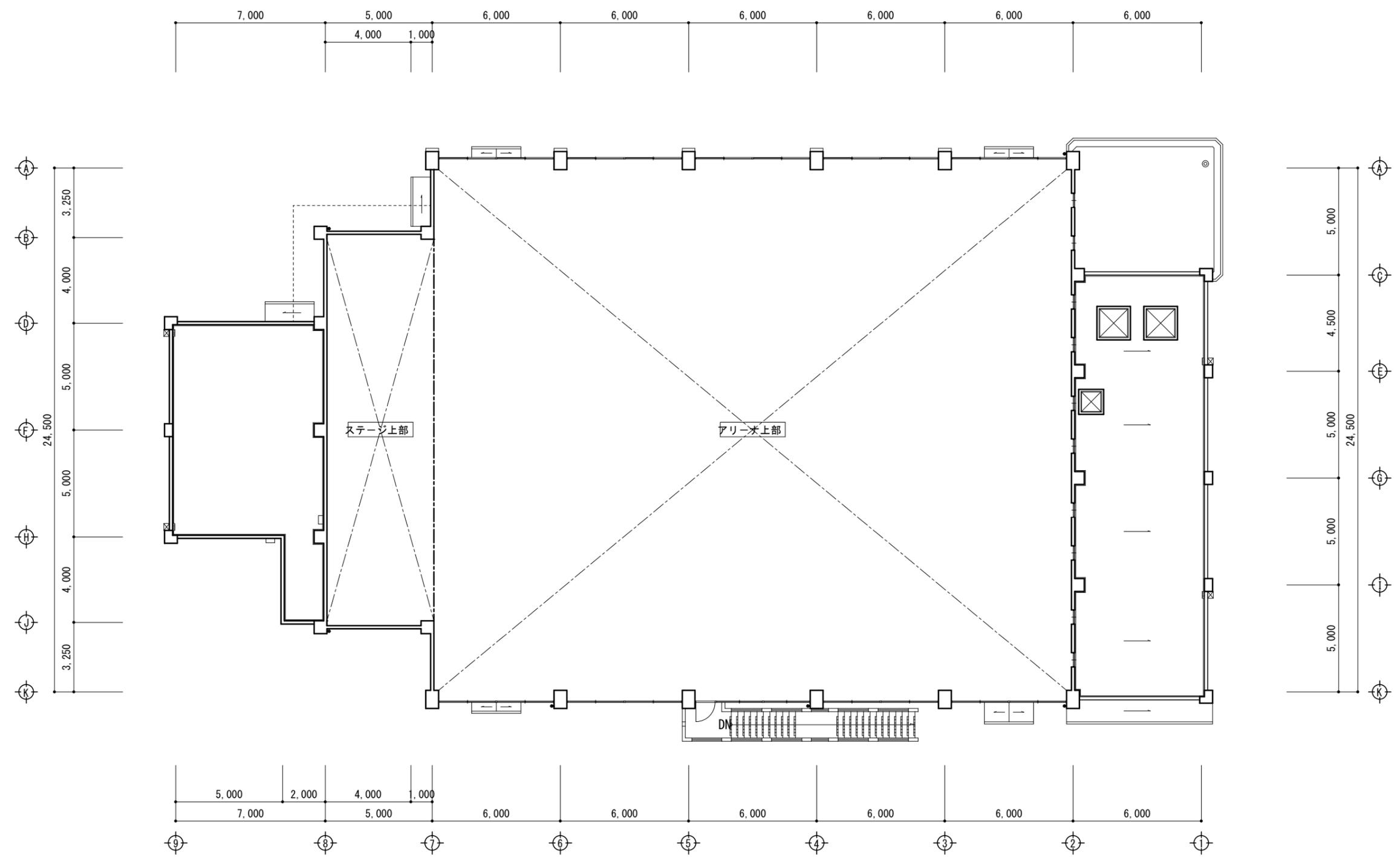
共通事項

- ※ 工事期間中、生徒・職員の安全に努めること。
- ※ 仮設物・仮囲い・現場事務所等の設置場所については、施設関係者及び監督員と協議して決定する事。
- ※ 敷地内の車両の通行に際しては、最徐行とし歩行者の安全に努める事。
- ※ 仮囲い等の進入口は鍵付とし、原則として工事関係者以外の立ち入り禁止措置を行う事。
- ※ 工事完了後は、仮囲い内の整地を行う事。

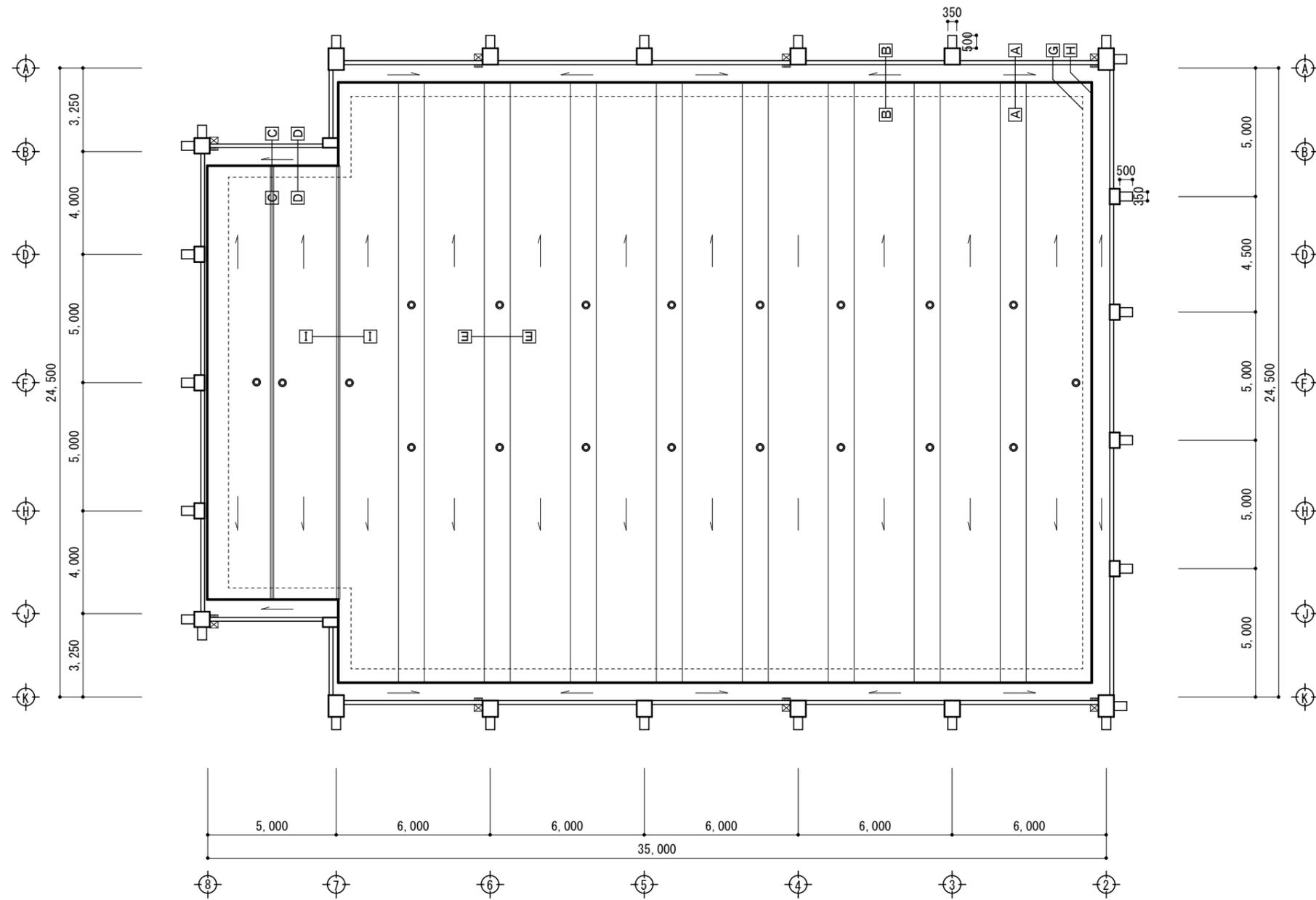
特記	作図	作図	行橋市役所 都市整備部 建築政策課 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL: 0930-25-1111 *****	工事名称・図面名称 行橋中学校体育館外壁改修工事 附近見取図・配置図	縮尺	図面番号
					A3版: 1/800	A05



特記	作図	作図	<p>行橋市役所 都市整備部 建築政策課 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL: 0930-25-1111 *****</p>	工事名称・図面名称	縮尺	図面番号
				<p>行橋中学校体育館外壁改修工事 1階平面図</p>	A3版: 1/200	A06



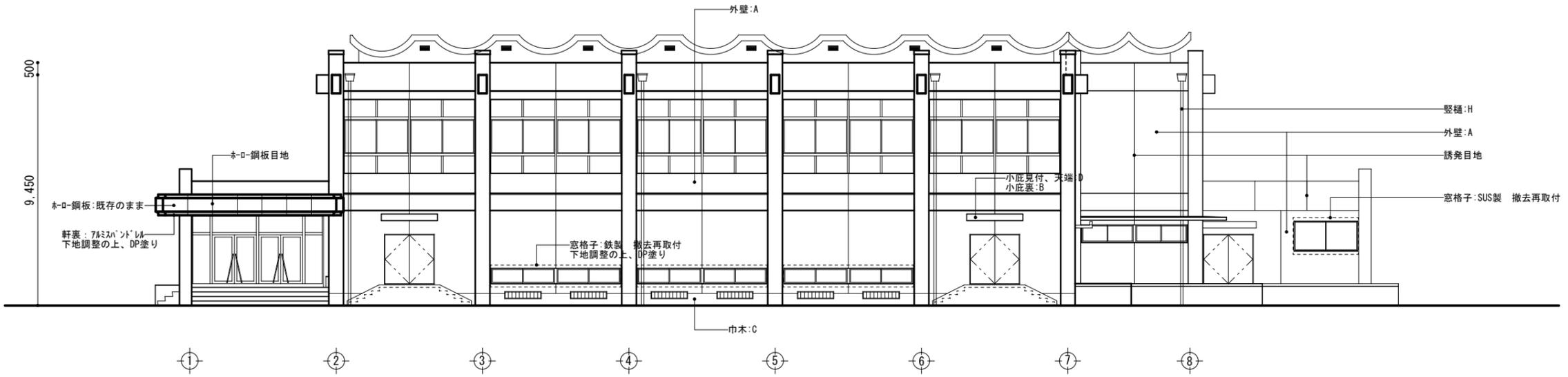
特記 	作 図 	作 図 	行橋市役所 都市整備部 建築政策課 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL: 0930-25-1111 *****	工事名称・図面名称 行橋中学校体育館外壁改修工事 2階平面図	縮 尺 A3版: 1/200	図面番号 A07
----------------	---------	---------	---	--------------------------------------	-------------------	-------------



特記	作図	作図	行橋市役所 都市整備部 建築政策課 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL: 0930-25-1111 *****	工事名称・図面名称 行橋中学校体育館外壁改修工事 屋根伏図	縮尺	図面番号
					A3版: 1/200	A08

外部仕上表			
記号	仕上	記号	仕上
A	改修前	D	改修前
	改修後		改修後
B	改修前	E	改修前
	改修後		改修後
C	改修前	F	改修前
	改修後		改修後

記号	施工位置	施工方法
	建具廻りシーリング	シーリング撤去新設 (MS-2)
	ホ-ロ鋼板目地	シーリング撤去新設 (MS-2)
	クワッド誘発目地	シーリング新設 (PU-2)
	鉄部 (建具、窓格子等)	下地調整の上、DP塗り



北立面図

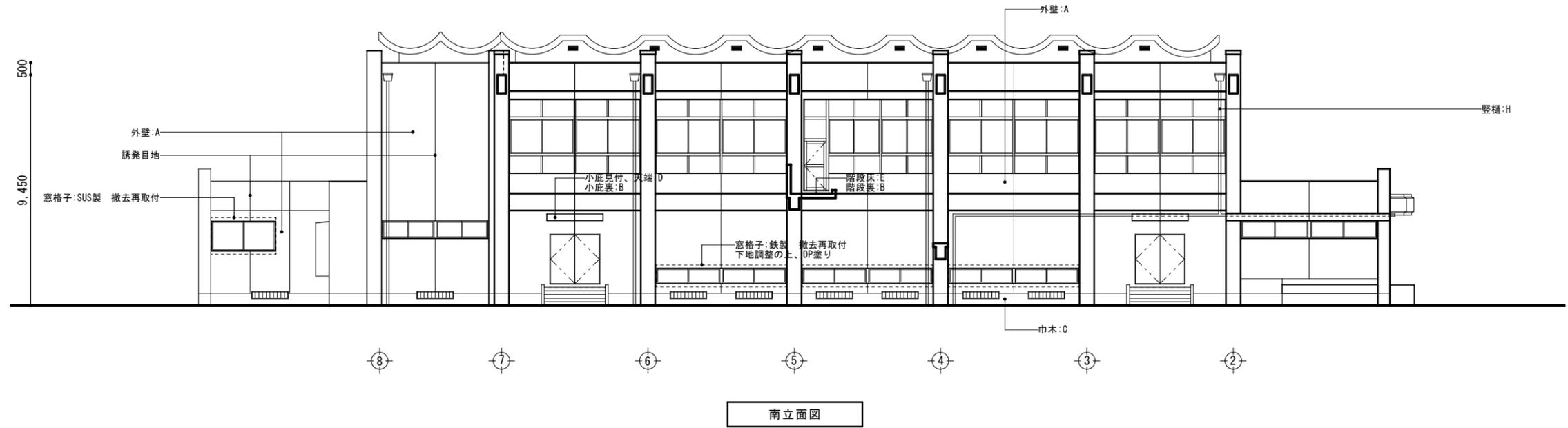


東立面図

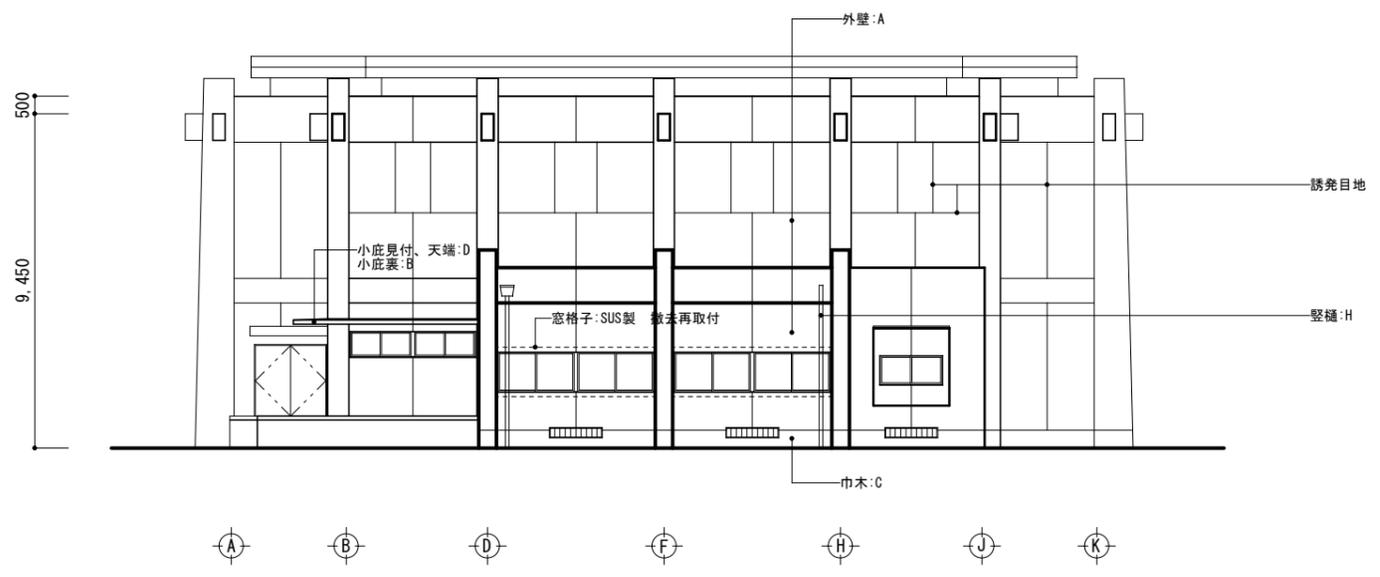
特記	作図	作図	行橋市役所 都市整備部 建築政策課 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL:0930-25-1111 *****	工事名称・図面名称	縮尺	図面番号
※防水型外装薄塗材Eは模様合わせを行う				行橋中学校体育館外壁改修工事	A3版:1/200	A09
				立面図 1		

外部仕上表					
記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
A	改修前	珪藻土毛引き (一部コンクリート打放) の上、7918P10吹付	D	改修前	珪藻土7 (一部防水珪藻土)
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水型外装薄塗材E		改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水型外装薄塗材E
B	改修前	コンクリート打放の上、7918P10吹付	E	改修前	珪藻土7 (一部防水珪藻土)
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、外装薄塗材E		改修後	高圧洗浄後下地調整の上、塗膜防水X-2
C	改修前	珪藻土毛引き (一部コンクリート打放)	F	改修前	
	改修後	既存のまま		改修後	

記号	施工位置	施工方法
	建具廻りシーリング	シーリング撤去新設 (MS-2)
	キ-0-鋼板目地	シーリング撤去新設 (MS-2)
	ク-0-誘発目地	シーリング新設 (PU-2)
	鉄部 (建具、窓格子等)	下地調整の上、DP塗り



南立面図

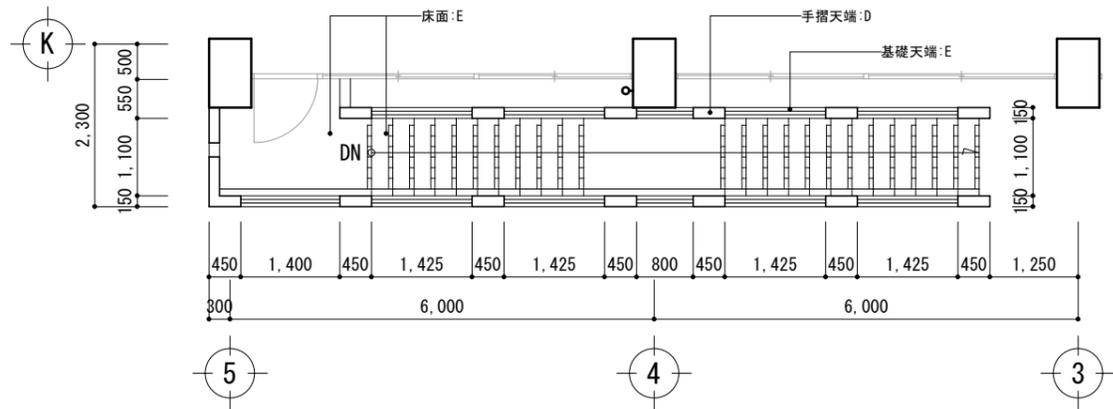


西立面図

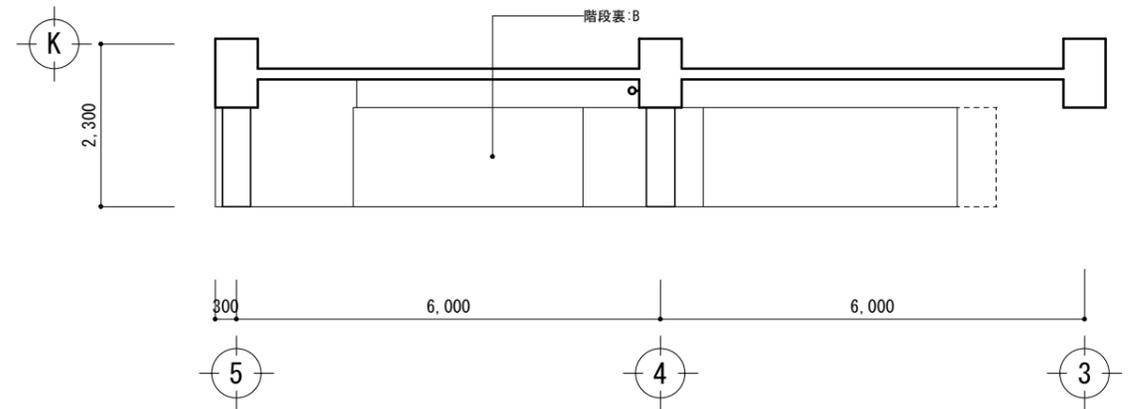
特記 ※防水型外装薄塗材Eは模様合わせを行う	作図	作図	行橋市役所 都市整備部 建築政策課 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL: 0930-25-1111 *****	工事名称・図面名称	縮尺	図面番号
				行橋中学校体育館外壁改修工事 立面図2	A3版: 1/200	A10

外部仕上表					
記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
A	改修前	D	改修前	G	改修前
	改修後		改修後		改修後
B	改修前	E	改修前	H	改修前
	改修後		改修後		改修後
C	改修前	F	改修前	I	改修前
	改修後		改修後		改修後

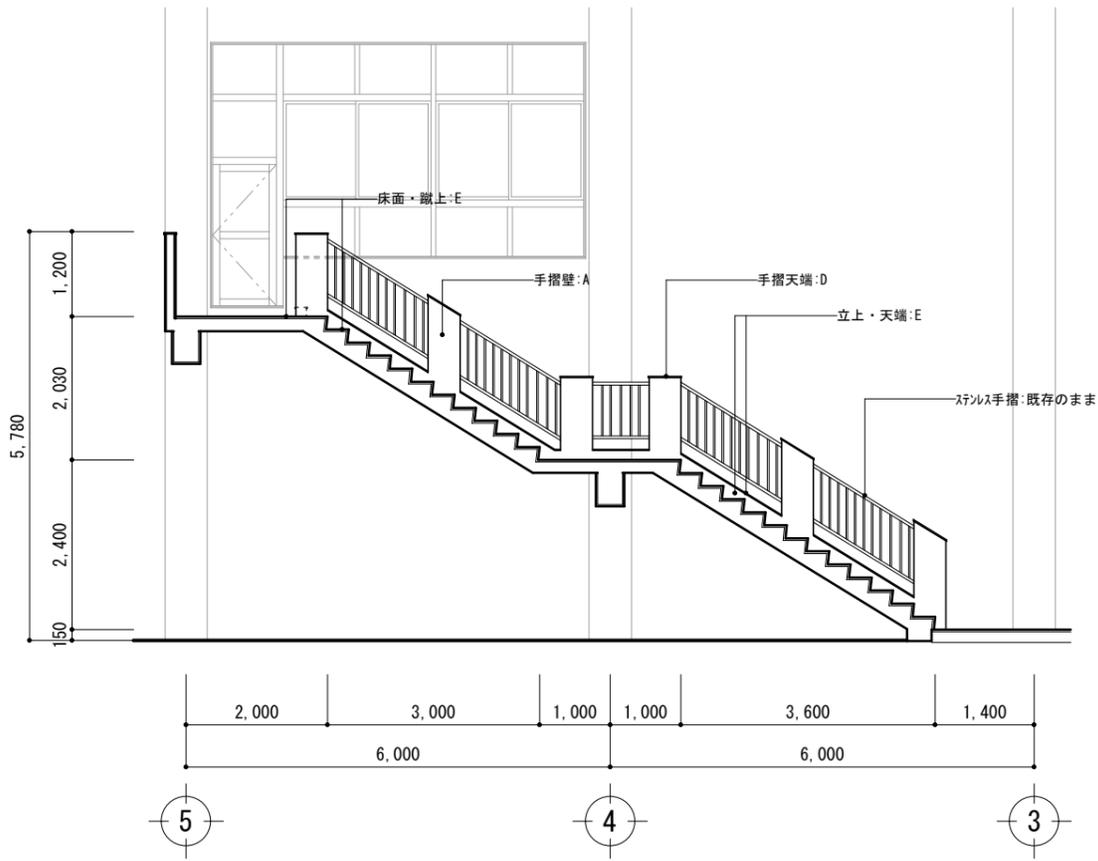
記号	施工位置	施工方法
	建具廻りシーリング	シーリング撤去新設 (MS-2)
	キ-α鋼板目地	シーリング撤去新設 (MS-2)
	ク-α誘発目地	シーリング新設 (PU-2)
	鉄部 (建具、窓格子等)	下地調整の上、DP塗り



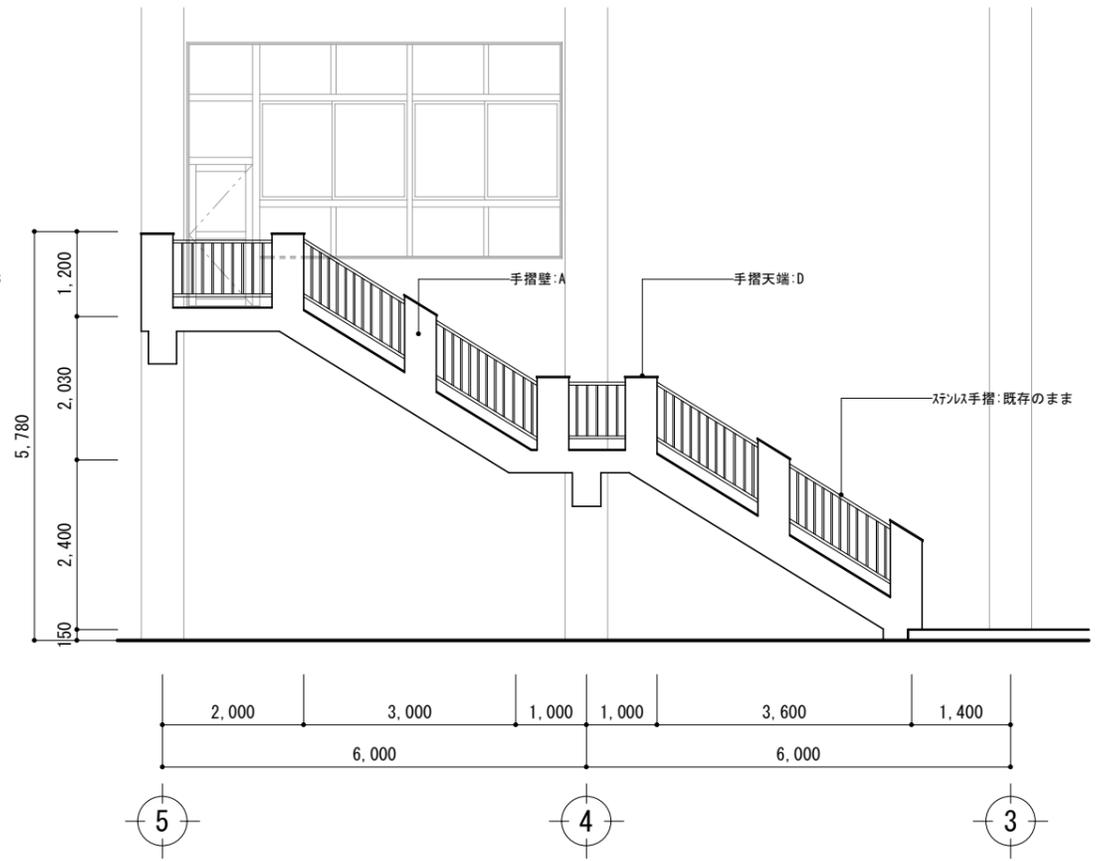
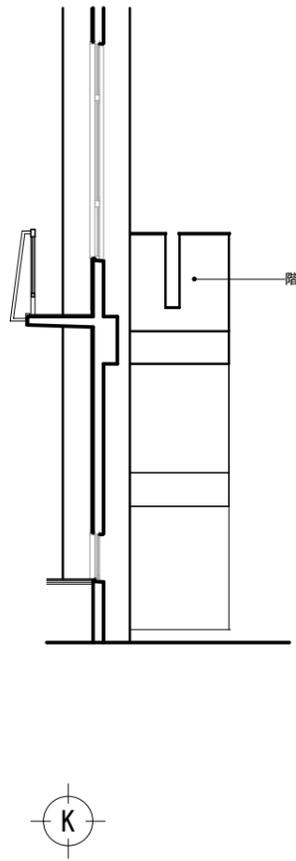
屋外階段詳細図



屋外階段上裏図



屋外階段断面図



屋外階段側面図

特記	作図	作図	行橋市役所 都市整備部 建築政策課 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL: 0930-25-1111 *****	工事名称・図面名称 行橋中学校体育館外壁改修工事 雑詳細図	縮尺 A3版: 1/100	図面番号 A 1 1
----	----	----	---	--	------------------	---------------